

都市構造可視化の普及活動

～沖縄県での事例～



北谷町 アリカン'レージ



美ら海水族館



国際通り

内閣府 沖縄総合事務局

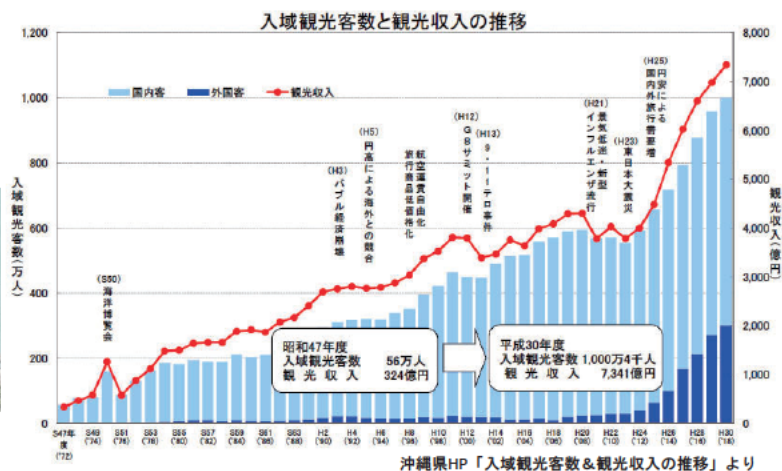
1. 沖縄県概要説明

観光立県「沖縄県」 ～入域観光客の推移～

- ・総人口 約145.5万人
(R1.11月時点)
- ・総面積 約2,300km²
- ・入域観光客 約1,000万人
(H30年度)



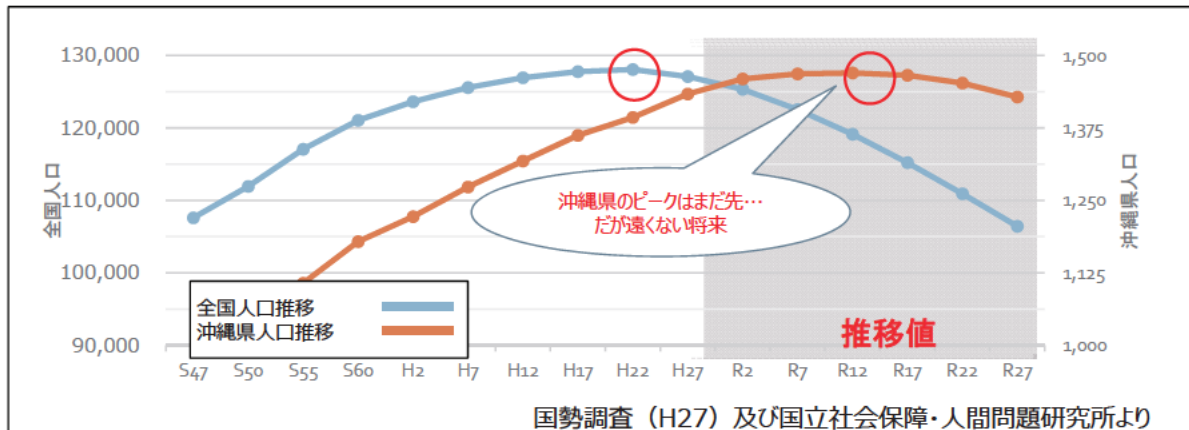
那覇港 泊ふ頭地区大型旅客船専用P-ス



「2018年世界渡航先ランキング」、「宿泊を伴う外国人渡航者数と外国人渡航者全体の消費額について2009年～2017年の年間成長率」で沖縄県が世界トップ。(クレジットカード運営会社Mastercard発表)
訪日インバウンドを受け入れる体制が近年急速に整いつつある(大型旅客船専用P-ス、国際線連絡ターミナル)。
沖縄県調べ「外国人観光客実態調査」では9割がショッピング目的の来沖(大型商業施設の開発)
⇒今後も沖縄経済を牽引する観光産業への更なる受け入れ態勢強化の開発が進められている

2. 都市構造可視化の普及活動の目的

観光立県「沖縄県」～総人口の推移～



- ・沖縄県では人口の自然増が続いており、R12年度まで人口の自然増加の見込み。
 - ・全国の都市が抱える「人口減少、高齢化」を起因とする「都市の課題」が沖縄県では起きていない。
※都市の課題＝都市のスポンジ化、インフラへの影響、公共サービスの低下、都市機能の低下 など
 - ・「入域観光客の増加＋人口増加」により都市の拡大が進んでいる。他人事のように...
- ⇒避けられない都市の課題を先送りしない様、
「都市構造可視化」から課題を感じ、まちづくりのツールとして活用してもらう

i-都市交流会議2020

3

3. 市町村の生の声

「まちづくりの現場で使える都市構造可視化研修in沖縄」第1回



研修を受けた感想

- ・対外的に説明する場や、庁内の幹部や関係課への説明する場でのイメージをつかむ導入的なツール
- ・考えていたことが実際にビジュアル化されているので感覚がつかみやすい
- ・「こうだろう」と思っていたことが実は間違っており、根拠のある新しい事実気が付けたことも
- ・県内研修のみであれば例年参加したい ・次回開催があれば担当部署以外（企画・観光・交通）へも案内

i-都市交流会議2020

4

4.市町村の生の声

沖縄県内 都市構造可視化計画の紹介、その後の活用



豊見城市役所にて



北部国道事務所にて



うるま市役所にて

紹介を受けた感想

県内8自治体、局内の他部署（EX：都市マス、立地適正化計画担当者等）

- ・経年変化では土地区画整理事業の前後の比較することで整備効果が確認することが出来た
- ・人口分布は、世代ごとで分類できるとより詳細な都市構造の解析に使えるのでは？
- ・既存の統計データRESASと統合することで効率化が図られるのでは？

活用した事例、活用予定

- ・緑の基本計画策定にかかる住民説明会、密集市街地解消に向けた庁内検討、今後の立地適正化計画策定の際の居住誘導区域設定にかかる内部検討に活用
- ・立地適正化計画の資料内に活用（コンサルタントを通して）
- ・都市計画マスタープランの改訂時に活用予定・・・
- ・現在の計画や事業の見直し等に活用（コミュニティサロンの再検討に使えるのでは）

i-都市交流会議2020

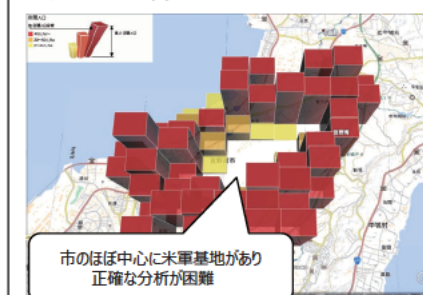
5

5.市町村の生の声

もっとこうしてほしい！都市構造可視化 BEST 3



都市構造可視化計画Webより（データ出典：国勢調査）



都市構造可視化計画Webより（データ出典：国勢調査）

①メッシュサイズ

- ・1 kmメッシュ500mメッシュでは、市町村毎の解析が不十分
- ・任意にメッシュサイズの変更ができるようになると解析しやすい
- ⇒大きなゾーン（計画区域）の解析に加えて、小さなゾーン（市町村単位）や細かなゾーン（地区のミクロ的解析）が出来ればより実用的

②その他Bigデータとの統合、連携

- ・RESAS、q GIS、産業連関表 などなど
- ・既存の商業統計調査では販売額分布などあるが、産業別の事業所数や店舗数の推移など確認できない。
- ⇒産業構造の推移を分析、誘導すべき産業種の検討に役立つのでは

③市町村独自のデータ（台帳等）の可視化

- ・固定資産台帳等を活用し土地利用現状、建物の現況の可視化
- ⇒地図に落とし込むことで「感覚的」ではなく「具体的」に部活ごとの課題も見えやすくなる
- ⇒オープンデータ化することはできないが、是非活用してみたい！
- ⇒という市町村について個別対応は可能？

i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

6

6. 望まれる可視化

都市構造可視化計画の発展のために、沖縄の発展のために



都市構造可視化計画

もっとこうしてほしい！が…
問い合わせ方法は？
コンサルに直接？
地整がどのように絡むか…

①既存データへの要望
(メッシュサイズ、データの表示方法)

②その他オープンデータの追加
(qGIS, RESAS, 産業連関表、PT調査、
交通量調査、その他BigData)

③個別データの追加 (固定資産台帳等…)

地方整備局への具体的なデータ活用のレクチャ

- ・今年度の地整向け研修では主に「操作方法」を学んだが、参加自治体以外に「ツールを紹介する」ことしかできなかった
- ・上記に加え、自治体職員の方が統計データに詳しい。

⇒**地整向け研修では**
操作方法 + 参加自治体以外へのデータ活用の事例、流れ
 のレクチャーをしていただきたい。

EX: こういったデータの形式であれば可視化可能！
 オープン化統計データの可視化、追加手順！
 可視化できるデータの形式！ **など具体的な事例**

⇒より手にとろう！という気持ちになり、今後の発展につながる。
 ※個別に是非可視化したい！という市町村が有ったら???

人口減少の前に担当者や住民の手元に

- ・人口減少、高齢化が進む現実がハッキリと見える化
- ⇒立地適正化計画の策定、など施策立案へと繋がる！
- ⇒紹介した全市町村から「セキュリティの都合上導入困難」の声
- ⇒市町村の課題でもあるが何とかクリアできるよう支援したい

i-都市交流会議2020

7

PR：沖縄県島尻郡与那原町





- ・沖縄県島尻郡与那原町
- ・総人口 19,950人 (R1.11月時点)
- ・国勢調査による人口増加率県内1位、全国7位 (2010年～2015年)
- ・総面積 約5.18km² (本島最小面積)

・今後のまちづくりの展望 東浜地区へのMICE誘致
 東浜地区への交通結節点の誘致
 立地適正化計画の策定…等

・与那原大綱曳 2020年8月15日(土) 16日(日)



400年の歴史をもつ与那原大綱曳



MICE誘致予定地、マリンタウン東浜地区

i-都市交流会議2020

8